

# 富山大学 和漢医薬学総合研究所年報 35 巻 2008 年

## Annual Report of Institute of Natural Medicine University of Toyama. Vol. 35, 2008

### 目次

巻頭言	1
研究所の使命	2
研究所の概要	3
総 説	
STUDIES ON THE MOST TRADED MEDICINAL PLANTS FROM THE DOLPA DISTRICT OF NEPAL Mohan B. Gewali	5
各部門・附属センターの活動と業績	
資源開発部門 生薬資源科学分野	33
化学応用分野	43
薬物代謝工学分野	49
病態制御部門 複合薬物薬理学分野	59
病態生化学分野	63
消化管生理学分野	73
臨床利用部門 臨床利用分野	79
機能情報解析分野 (客員)	87
漢方診断学部門 (寄附)	93
和漢薬製剤開発部門 (寄附)	101
未病解析応用部門 (寄附)	105
附属民族薬物研究センター	
薬効解析部	111

外国人客員部	123
国際共同研究部	125
民族薬物資料館	129

## 研究所の活動記録

2008年の活動記録	133
研究所主催のセミナー・シンポジウム・公開講座など	
JST-BIRD 和漢医薬学総合研究所 共同ワークショップ	135
第13回和漢医薬学総合研究所夏期セミナー	136
第1回和漢薬の科学研究シンポジウム	139
第29回和漢医薬学総合研究所特別セミナー	140
民族薬物資料館一般公開	142
部局学術交流協定	143
新聞・雑誌掲載記事	144

## 表紙の写真

キンポウゲ科の *Aconitum carmichaeli* Debeaux ハナトリカブト、塩附子、川烏頭、草烏頭 mesaconitine  
 (中国四川省安県にて、2002年9月22日、小松かつ子撮影)

*Aconitum carmichaeli* の塊根を修治したものが附子であり、日本薬局方には修治法の異なる3種類のブシが収載される。それぞれは総アルカロイド含量の規格も異なり、ブシ1は0.7~1.5%、ブシ2は0.1~0.6%、ブシ3は0.5~0.9%。強壮、利尿、強心、鎮痛薬として新陳代謝機能の賦活、身体四肢関節の麻痺疼痛、虚弱体質者の腹痛、下痢、冷感などに応用する。各ブシの使い分けの科学的根拠の蓄積が待たれる。